

敬老乗車証に関するアンケート調査報告書（要旨） （敬老乗車証利用実態調査）

1 調査方法及び回収率（本冊 2 ページ，7 ページ）

現在敬老乗車証をお持ちの方に対して，乗車状況を確認するために，調査期間を1週間とし（平成24年9月20日から26日まで），調査票を送付した。なお，1週間のうち3日間と4日間の調査票に分け，回答者一人当たりの負担を軽減し，トータルで1週間の乗車状況を確認することとした。

送付数 6,994 件に対し，回収数は 4,764 件で，回収率は 68.1%であった。

2 よく利用する交通機関（本冊 11 ページ）

「あなたが「敬老乗車証」でよくご利用される交通機関」（複数回答）では，「市バス」が 4,079 件で 85.6%と最も多く，次いで「地下鉄」が 3,031 件で 63.6%，「市バス・地下鉄以外の交通機関」が 1,551 件で 32.6%と続いている。

☞ 「市バス」は敬老乗車証所持者の大多数が利用している。また，全体で 100%を大きく超えることから，「市バス」と「地下鉄」，「市バス」と「市バス・地下鉄以外の交通機関」といった複数利用や乗継ぎなどの現状もうかがえる。

3 各交通機関の乗車回数（本冊 13 ページ）

(1) 市バスの乗車回数

「利用していない」が 931 件で 19.5%と最も多く，次いで「2回」が 899 件で 18.9%，さらに「4回」が 606 件で 12.7%と続いている。

(2) 地下鉄の乗車回数

「利用していない」が 1,191 件で 25.0%と最も多く，次いで「2回」が 819 件で 17.2%，さらに「4回」が 365 件で 7.7%と続いている。

(3) 市バス・地下鉄以外の乗車回数

「利用していない」が 1,218 件で 25.6%と最も多く，次いで「2回」が 475 件で 10.0%，さらに「1回」が 206 件で 4.3%と続いている。

☞ 3日間，4日間の調査とはいえ，「利用していない」方が多い。「2回」ないしは「4回」利用の方と，より長期間での比較を行うとすると，その利用回数の乖離は大きくなる。このように「よく利用される方」と「あまり利用されない方」が存在する。

4 利用目的 (本冊 19 ページ)

「あなたが敬老乗車証をご利用される主な目的」(複数回答)については、「買物」が2,880件で60.5%と最も多く、次いで「通院」が2,106件で44.2%、「余暇活動」が1,841件で38.6%と続いている。

☞ 「買物」や「通院」のように、一定決まった区間を繰り返し利用される方と、「余暇活動」や「観光」のようにそのときどきにより目的地が変わる方と、利用形態が2パターンあることが分かる。

5 自由記述 (本冊 20 ページ)

記述をジャンルごとに分類すると、「制度の効果・感謝」が2,034件で45.1%と最も多く、次いで「制度継続希望」が306件で6.8%、「サービス改善」が211件で4.7%と続いている。(意見なしやその他意見は除く。)

☞ 多くの方が「制度の効果・感謝」の気持ちを持っておられる。

■主な意見 (抽出)

(1) 「制度の効果・感謝」

- ・敬老乗車証のおかげで10年間通院を続けられている。
- ・高齢になってきたために、自家用車をやめ、バスや地下鉄を利用しているため、大変助かっている。
- ・乗車証を利用することで、歩く機会が増加し、健康が保たれている。
- ・乗車証があるから植物園など行きたいところに行ける。
- ・乗車証のおかげで外出の機会が増える。外出すると、お金も使うし、広い目で見ると、社会が回ると思う。
- ・乗換えが何度でもできるし、乗り間違えてもショックを感じない。乗車証がなかったら、家に引きこもることになる。
- ・もし乗車証がなかったら、歩いて行ける範囲にスーパーもなく、病院もないため、不自由な生活となり、生活費もかさみ不安である。
- ・京都市の高齢者福祉制度の中で最も充実したものとして感謝している。

(2) 「サービス改善」

- ・乗車証をICカードにできないか。
- ・市バスの本数が少ないため、私鉄の市内区間の敬老乗車証がほしい。

(3)「負担金等」

- ・無料ではなく，1回=100円（乗り換えても毎回）としてはどうか？
- ・交通局が赤字ならば，もう少し値上げしてもよいのでは？
- ・以前は無料だったのに，敬老というのであれば，年金から3,000円は苦しいので無料にしてほしい。
- ・現在の乗車料（負担金）は安すぎる。2倍か3倍にしてもよいのでは。
- ・年金生活者はこれ以上高くなると使えなくなる。現状維持でお願いしたい。

(4)「制度継続希望」

- ・仕事のうえでも，健康維持のうえでも欠かせない存在である。絶対に続けてほしい。稀にみる善政といえる。
- ・もしこの制度がなく乗車の都度220円が必要だとしたら，高齢者の活動は大幅に抑制される。
- ・車の運転ができない者にとっては正に命綱のような存在。
- ・近所で済ませる買物も，少し遠くへ足を延ばしてみることができる。
- ・応分の負担である今の制度は良いと思う。
- ・所得によらず年間の利用回数によって料金を決めてはどうか。年間10回利用した者と100回利用した者で同一というのは合理性に欠ける。

(5)「制度の廃止」

- ・廃止すべきだ。70歳以上の人は年金が充実し恵まれている。これ以上老人優遇は必要ない。あると使用したくなる。
- ・年間数回の乗車券を敬老の日に無料配布し，年間を通じて敬老割引券を発行し，従来の敬老乗車証は廃止すべきである。
- ・無料の制度は廃止すべき。
- ・高齢者にとってはありがたい制度で，有効利用している。しかし，高齢者が増加する中，財政面が心配。高齢者は医療費でも優遇されているし，若者と公平感を保つため，この制度は廃止すべき。

(6)「その他の意見」

- ・将来の財政の重しにならないためにも，現行のシステムでよいのか今から検討すべき。（現行の5段階での負担方式の是非，利用都度一部負担，年間利用限度額の設定など）
- ・乗車の都度，現金を出す手間が不要なので，いくらになるのか心配なく，とても便利。